

S3, S6

改訂日 2025年11月6日



発行年月日 2014年4月24日

改訂年月日 2025年11月6日

改訂番号 1.1

## 安全性データシート

### 1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	S3, C6, G6, S6, SV3 (混合物)
含有成分	石油留分 (ハイドロトリード軽質ナフテン系)
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者（国内責任事業者）	株式会社エスティーエム 埼玉県入間郡毛呂山町川角 502-6 TEL 049-276-1060 FAX 049-276-1059
製造者（海外）	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA

### 2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分	H文言
誤えん有害性	区分1	H304 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
発がん性	区分外 (>3%DMSO抽出物非含有のため)	H350 : 飲み込むと発がんのおそれ (※該当条件時)

内容	表示
GHS 絵表示	
注意喚起語 (Signal word)	危険

#### P-文言

- P301+P310 【誤飲】医師または毒性センターに直ちに連絡を  
P331 吐かせてはいけない  
P308+P313 暴露または曝露の懸念がある場合：医師の診察を受けること

#### その他の有害性

- 中枢神経抑制（眠気、めまい、吐き気、頭痛など）の可能性
- 長期または反復皮膚接触で皮膚の脱脂・乾燥・皮膚炎の可能性
- 感作性の可能性（感受性の高い者）

### 3. 組成及び成分情報

成分名	CAS No.	含有率(質量%)	GHS クラス・区分(Hコード)
石油留分（ハイドロトリーテッド軽質ナフテン系）	64742-53-6	100%	誤えん有害性1 (H304)

### 4. 応急措置

#### 経路

#### 応急処置

吸入

新鮮空気へ移動し安静。呼吸困難時は医師の診察を受ける。

皮膚接触

多量の水と石けんで洗浄。汚染衣類は再使用前に洗浄。症状があれば医師受診。

眼への暴露

多量の水で洗眼。刺激が持続する場合は眼科医を受診。

飲み込み

嘔吐禁止。口をすすぎ、意識のない者には何も与えない。直ちに医師へ連絡。

経路

応急処置

### 5. 火災時の措置

- **使用可能な消火剤**：周囲状況に応じた消火剤（粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、水スプレーなど）を使用
- **使用してはならない消火剤**：特に指定なし（周囲状況による）
- **特有の危険性**：燃焼により有害ガス（CO、CO<sub>2</sub>）が発生する可能性
- **消火者保護具**：正圧式 SCBA（自給式呼吸器）、耐火防護服、保護手袋、防護眼鏡／フェイスシールドを着用
- **消火活動上の注意**：風上から消火活動を行い、火源から安全距離を保つ

## 6. 漏出時の措置

### 人体への保護措置

- 保護具（保護手袋、保護眼鏡、防護衣）を着用し、皮膚・衣類との接触を避ける
- 有機ガス用防毒マスクを必要に応じて着用

### 環境汚染防止策

- 下水道、河川、土壤への流出を防ぐ
- 安全に可能であれば漏洩を封じ込める

### 封じ込めおよび収集方法

- 不燃性吸収材（砂、珪藻土、バーミキュライト等）で吸収し、密閉容器に回収
- 回収物は法令に基づき処理

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い時の注意：

- 十分な換気を行い、皮膚・眼への接触を避ける
- 保護具（セクション8参照）を着用
- 作業後は手洗い・うがいを実施
- 火気、熱、静電気から遠ざける

### 保管条件：

- 容器を密閉し、冷暗所で換気の良い場所に直立保管。
- 直射日光・高温・多湿を避ける。
- 識別ラベルを貼付し、混合不可物質から隔離。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度・許容濃度（参考値）

- 国内法定値なし（参考：他国規制値は存在）

### 工学的対策

- 局所排気や換気設備で蒸気・ミストの拡散防止
- 静電気防止対策の導入

### 個人用保護具

用途	保護具内容
呼吸用	有機ガス用防毒マスク
手の保護	耐溶剤性手袋（ニトリルゴム製等）
眼の保護	保護メガネまたはフェイスシールド
皮膚・身体	長袖防護衣、耐油作業衣

### 衛生対策

- 作業後は必ず手洗い・うがいを行う。
- 汚染衣類は洗浄後に再使用。

**9. 物理的及び化学的性質**

項目	記載内容
外観／状態	淡黄色液体
匂い	炭化水素様
融点／凝固点	情報なし
沸点範囲	>193 ° C
引火点	>96 ° C (開カップ)
粘度 (動粘度)	3–6 cSt @ 40 ° C
可燃性	可燃性液体
水溶性	水に不溶
他の溶媒への溶解性	有機溶媒に可溶
相対密度	0.87–0.88
蒸気圧／蒸気密度	情報なし
自動着火温度／爆発範囲	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

- **安定性**：通常の使用条件下で安定
- **危険反応の可能性**：通常の使用条件下では反応しない
- **避けるべき条件**：火気、高温、酸化剤との接触
- **危険な分解生成物**：通常使用条件下では特になし。燃焼時にCO、CO<sub>2</sub>が発生する可能性あり
- **不適合物質**：強酸化剤

## 11. 有害性情報

### 急性毒性（推定値）

- 経口 LD<sub>50</sub> > 99,999 mg/kg (混合物計算値)
- 経皮 LD<sub>50</sub> > 99,999 mg/kg (混合物計算値)
- 吸入 LC<sub>50</sub> (ラット、4h) = 2180 mg/m<sup>3</sup> (石油留分)

### 症状

- 吸入：ミスト吸入で呼吸器刺激
- 皮膚：長時間の接触で皮膚脱脂、乾燥、皮膚炎
- 眼：刺激性あり
- 飲み込み：誤えんにより肺障害・致死の危険

### 発がん性

- 該当せず

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露／反復ばく露）

- データ不足のため分類できないが、中枢神経抑制（眠気、めまい）のおそれあり

### 感作性

- 該当情報なし

**12. 環境影響情報**

**水生毒性** (石油留分)

- 魚類 (Oncorhynchus mykiss, 96h) LC<sub>50</sub> > 5000 mg/L
- 甲殻類 (Daphnia magna, 48h) EC<sub>50</sub> > 1000 mg/L

**生分解性**：情報なし

**生体蓄積性**：情報なし

**土壤移動性**：土壤に吸着

**PBT/vPvB 判定**：該当情報なし

**その他有害性**：既知の内分泌かく乱作用なし

**13. 廃棄上の注意**

- 本製品および未使用残渣は家庭廃棄せず、法令に基づき産業廃棄物処理業者に委託すること
- 汚染容器や包装は再利用せず、内容物を完全に除去し、密閉のうえ専門業者に廃棄依頼
- 漏洩時に使用した吸収材・汚染物も同様に処理
- 下水道・河川・土壤への流出を防止
- リサイクル困難な場合は焼却処理または封じ込め処理を実施し、法令適合を確認

## 14. 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし (Not regulated)
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
海上汚染性	なし
適用規則	ADR（陸上）、IMDG（海上）、IATA（航空）いずれも規制対象外
その他	未洗浄容器の切断・溶接・研磨は禁止（残留蒸気による爆発リスク）

## 15. 適用法令

法令名	該当性	備考（管理番号や分類など）
労働安全衛生法（安衛法）	該当	GHS 区分によりラベル表示・SDS 提供義務あり（法第 57 条）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当	石油留分（ハイドロトリーテッド軽質ナフテン系）は毒劇物指定外
特化則／有機則（有機溶剤中毒予防規則）	非該当	成分は第 2 種有機溶剤等に該当しない
PRTR 法（化管法）	該当	指定化学物質該当なし
消防法（危険物規制）	該当	第 4 類第 3 石油類（非水溶性）・危険等級III（引火点 96°C）
化学物質審査規制法（化審法）	非該当	優先評価化学物質等の指定なし

**16. その他の情報**

- 発行日：2014年4月24日
- 改訂日：2025年11月6日
- 参照元SDS（英語版）：Revision Date 2017-08-29
- 略語：

GHS：化学品の分類および表示に関する世界調和システム

LD<sub>50</sub>：半数致死量

LC<sub>50</sub>：半数致死濃度

PBT：難分解性・高蓄積性・有害性物質

- 参考文献：

- 欧州CLP規則 (EC 1272/2008)
- JIS Z 7252:2019 (化学品の分類に基づく表示及び文書による警告)
- JIS Z 7253:2019 (安全データシートの作成方法)
- 経済産業省 GHS分類ガイド
- 各成分のSDS (製造者公表値)

**免責事項：**

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

---

安全データシート終わり